

How did students develop their note-taking skills in Reading & Listening course ?

中島 優子／長谷川由美

1. はじめに

Reading & Listening コースでは、様々な題材の英文を講義形式で聞き、速読の練習を通じて英語の受容能力を高め、最終的には英語圏の大学でも通用する英語力をつけることが目的である。しかし大学に入学したての学生にとって講義形式の英文を聞き、メモをとり、全体を把握することは容易ではないようである。平成12年度・春学期に担当したクラス（コミュニティ福祉学部5・観光学部6）では英語による講義の聞き方、ノートの取り方のコツを指導し、講義を聞きながら実際にノートを取る練習をした。本稿ではその指導内容、ノート(4・7月)の比較・分析を報告する。また学生へのアンケート(7月)を基にリスニングやノートを取る時の問題点、今後の課題を考察する。

2. 指導内容

使用教材は *Intermediate listening comprehension : Japan edition*

(Dunkel & Lim1994)である。講義の聞き方、又、ノートの取り方の指導は講義をテープで聞く前後にディスカッション形式で行われた。又、ノートの取り方の指導では学生自身やクラスメイトのノートを見直し、比較しながら行われた。

2.1 英語による講義の聞き方のコツ

受容能力の内、リーディングに比べてリスニングの難しい点は、音が残らないことである (Rost 1990)。リスニングに慣れていない学生は記憶している音を頼りに意味を訳しながら理解しようとする。しかし訳すことに時間を取られ、次の言葉を聞き逃し全体の把握が出来なくなる。又、新しい単語を聞いた時もその部分が気になり全体を把握することが難しくなる (O'Malley & Chamot 1990)。リスニング上達の第一歩としては、知らない単語が聞こえても単語レベルで意味を理解せず、文脈から推測する努力をし、集中力を欠かさないことが大切である。さらに、講義を聴きながらその構成、重要ポイ

ントを見極めることも難しい(Flower-dew 1994)ので、講義に関する学生の背景知識を最大限に生かすことや、談話標識語(To begin with等)を理解することが必要である(Chaudron & Richards 1986)。

2.2 ノートの取り方のコツ

ノートを取る為に気をつけることは、講義の主題に関することを順番に書く(Rost 1990)、長い言葉を要点だけにまとめて書き取る、省略形を使う、矢印や数字などで見やすくする、文法的な要素を無くして短く書く、テストに出題されそうな要点をはっきりと正確に書く(Dunkel 1988)、翌週にノートを見直した時、講義を思い出せる内容にする(Chaudron et al. 1994)等である。又、学生自身が母国語で書いているノートと客観的に比較することも良い(Vandergrift 1996)。

3. 学生のノート(4月・7月分)比較・分析

学生のノート(4月・7月)をChaudron et al.(1994)の研究に沿って分析した(表1参照)。「シンボル(矢印、マーク等)」「語数」「言葉通りの記入」の項目ではかなりの進歩が見られる(添付資料参照)。しかしこの結果を深く分析すると、ノートにある文は多くが講義そのままであった。学生は講義を聞き、その英文を書き移していた。そのため「語数」と「言葉通りの記入」が増えたのである。本クラスの学生は、

聞いた英文を整理してから要点を書く練習が必要である。

「テストの答」では、教科書に付属したテストの答となり得る正確な内容を数えた。7月では34%に増加しているが、これはノートに34点分しか答が書かれていないということである。内容を重視したノートを取る練習も必要である。「番号・図」が7月のノートで減っているがこれは講義の内容が影響しているものである。

表1：ノート分析(66名)

	4月	7月	増加
タイトル	4	28	700%
シンボル	36	318	880%
省略形	8	26	325%
単語	916	5141	561%
番号・図	208	8	-96%
言葉通りの記入	13	122	938%
テストの答	12.1%	34.5%	285%

4. リスニングやノートを取る時の問題点

学期末(7月)アンケートの結果、61%の学生が、リスニングの集中力を維持するのが難しい(理由：英語のスピードが速い・知らない単語がある)と答えた。このことから学生は英文を単語レベルで聞き(Bottom-up)講義を全体的に見渡すこと(Top-down)が難しいと思われる。そのためノートにも「言葉通りの記入」が増え、さらには講義の要点である「テス

トの答」が34%しか書かれていなかったであろう。又、20%の学生が講義を聞きながらノートを取れないと答えた。ノートを取る場合「英語の講義を理解する→部分的要約をする→書くタイミングを決める→ノートに書く」という順がある (Flowerdew 1994) ので、外国語学習者には特に練習が必要である。

5. 今後の課題

今後の課題として、1)リスニングとノートの取り方を別々に指導する、2)解らない単語があっても全体から理解する練習3)英文を聞きその要点を簡潔にノートに書く練習4)テストのポイントを予測ノートに書く練習等があげられる。

(なかじま ゆうこ

本学全カリ運営センター英語非常勤講師

はせがわ ゆみ

本学全カリ運営センター英語非常勤講師)

参考文献

- Chaudron, C., Loschky, L., & Cook, J. (1994). Second language listening comprehension and lecture note-taking. In J. Flowerdew. (Ed.), *Academic listening: Research perspectives* (pp.113-127). Cambridge: CUP.
- Chaudron, C., & Richards, J. (1986). The effect of discourse markers on the comprehension of lectures. *Applied Linguistics*, 7, 113-127.
- Dunkel, P. (1988). The content of L1 and L2 students' lecture notes and its relation to test performance. *TESOL Quarterly*, 22, 259-282.
- Dunkel, P., & Lim, P. (1994). *Intermediate listening comprehension: Japan edition*. Tokyo: Newbury House/Heinle & Heinle/Shohakusha.
- Flowerdew, J. (1994). Research of relevance to second language lecture comprehension - an overview. In J. Flowerdew. (Ed.), *Academic listening: Research perspectives* (pp. 7-29). Cambridge: CUP.
- O'Malley, M., & Chamot, A. (1990). *Learning strategies in second language acquisition*. Cambridge: CUP.
- Rost, M. (1990). *Listening in language learning*. London: Longman.
- Vandergrift, L. (1996). The listening comprehension strategies of core French high school students. *The Canadian Modern Language Review*, 52, 200-223.

4 月

French soldier

Napoleon was not very good student

England. Australia

The great French conquer died

CHAPTER 6 : A TIDAL WAVE

Note:

scientists another

- [1] a tidal wave is a ^{extremely} destructive wall of water that rushes in from the ocean toward the shore, many scientists call it ^{tsunami} tsunami which come from Japanese tsunami means stormy Japanese, way.
- [2] But, in fact, a tidal wave caused by storms and ^{nothing to do} nothing to do.
 true times ocean times
 predicted times lack.
- * What causes a tidal waves? is an earthquake or seaquake? ^{two} words to shake or tremble.
- [3] When a seaquake takes place at the bottom of the ocean, the ocean floor shakes and trembles and sometimes shifts.
 now, they suspect tidal wave can be deadly and taken many.
- [4] nowadays, scientists predict ^{when a} tidal wave will hit the shore.
 they have
 but it is possible to warn people that a tidal wave is coming.